

第14回 さいたま子ども短歌賞

応募期間 令和8年7月17日(金)～令和8年9月3日(木)まで

感じ
たこ
とを
三
十
一
音
で



主催 さいたま市教育委員会
協賛 埼玉県歌人会 埼玉県芸術文化祭実行委員会
後援 埼玉県 埼玉県教育委員会 埼玉新聞社

インターネットからも応募できます▶



第14回さいたま子ども短歌賞 応募要項

短歌を通して児童生徒の豊かな感受性と国語力をはぐくみ

伝統的な言語文化の継承を図るために

さいたま子ども短歌賞を実施し作品を募集します

短歌作品を応募票に記入してお送りください

★対象

全国の小・中学生

★応募期間

令和8年7月17日(金)から

令和8年9月3日(木)まで

★応募のきまり

・所定の応募票を使用してください。

※応募票のコピーや、市ホームページからダウンロードしたもの
の使用は可とします。

ただし、用紙サイズはA4とし、縮尺は変更しないでください。

・1人3首まで応募できますが、入賞は1人1首とします。

・応募作品は未発表の自作短歌に限ります。
ただし、学校の授業で制作した作品は可とします。

・他の短歌コンクールとの二重投稿や、既に発表されている短歌・歌詞等に著しく類似したものは、選考の対象になりません。

・応募のきまりに反する場合は、入賞を取り消すことがあります。

★選考委員

沖 ななも (歌人)

佐伯 裕子 (歌人)

外塚 喬 (歌人)

★賞

優秀賞 20首

賞状、図書カード (3,000円分)、

作品集を贈呈します。

入選 80首

賞状、作品集を贈呈します。

★発表

入賞者は、委員による選考後 11 月下旬頃に決定します。

入賞者本人へ学校を通じてお知らせするとともに、在籍校の学校長宛てに通知することと発表とします。

★表彰式

表彰式を次のとおり開催します。

期日 令和9年1月17日(日)

会場 さいたま市青少年宇宙科学館
青少年ホール

★作品集

入賞作品 100 首を掲載した作品集を作成します。

作品集には、作品とともに作者名、学校名、学年を掲載します。

★作品の取扱い

・応募作品の著作権は、さいたま市に帰属します。

・応募作品の原稿(応募票)は返却しません。

・入賞作品は、さいたま市ホームページ、本市刊行物等で作者名、学校名、学年と併せて掲載します。

・応募に際して取得した個人情報(さいたま市教育委員会が実施する短歌に係る3つの事業以外の目的では利用しません。

「夢と言葉をつむぐ短歌 未来へのかけはし事業
～Saitama "Tanka" Promotion Project(STPP)～」
さいたま子ども短歌賞、さいたま短歌フォーラム、現代短歌新人賞(詳細は市ホームページをご覧ください。)

※ 応募先・お問合せ先

さいたま市教育委員会事務局生涯学習振興課 電話 048-829-1705 FAX 048-829-1989
〒330-9588 さいたま市浦和区常盤 6-4-4 E-mail shogai-gakushu-shinko@city.saitama.lg.jp

さいたま市教育委員会事務局「自分発見!」チャレンジ up さいたま」スタンプ事業です。

第14回さいたま子ども短歌賞応募票

※三首まで応募できますが、入賞は一人一首です。

①

②

③

短歌の基本は「五七五七七」だけど、
「字あまり」、「字たらず」でも大丈夫！大きな字ではつきり書いてね！！

がっこうめい がくねん くみ
■ 学校名、学年、組

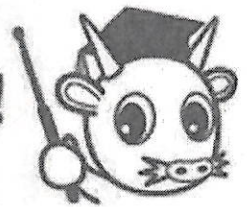
がっこうめい 学校名	しやう 市立 りつ 立	がくねん 学年	くみ 組
	がっこう 学校		

しめい
■ 氏名(ふりがな)

(ふりがな)
しめい 氏 名

※この応募票は A4 サイズのまま、拡大・縮小せずに提出してください。

3つのステップで短歌を詠んでみよう!



? 短歌ってどんなもの?

心動かされる景色や出来事などを、五・七・五・七・七の三十一文字で言い表した詩です。

【例：声に出して読んでみよう】

「寒いね」と 話しかければ 「寒いね」と 答える人の いるあたたかさ (横 万智「サラダ記念日」より)

STEP1 テーマを決めよう

どんなことを短歌にしたいか考えてみよう。

自分の好きなことや、楽しかったこと、感動したことなど、自由に選んでみてね。

テーマの例

・学校のできごと
・行ってみいたい場所

・家族、友達
・夏休みの思い出

・好きなスポーツ
・将来の夢

・動物、植物
・景色、風景

STEP2 つながりのある言葉を書き出そう

決めたテーマから思いつく言葉を、たくさん書いてみよう。

このときは、文字の数は気にしないで、頭にうかんだ言葉をたくさん書こう。

STEP3 五・七・五・七・七のリズムにあわせよう

STEP2で集めた言葉を組み合わせて、「五・七・五・七・七」に当てはめてみよう。

でき上がったら、声に出して読んでみるといいよ。

※字余り(文字数が多いこと)・字足らず(文字数が少ないこと)でも大丈夫!

伝えたいことが表現できるように、いろいろな言葉を試してみよう。

じょうきゅうしゃ

上級者のあなたへ

いろいろな表現のしかたにチャレンジしてみよう!

① 比喩(たとえる)

例: 「雪」の比喩⇒「白い綿のような雪」

② 体言止め(最後が名詞で終わる)

例: 「空が青い」の体言止め⇒「青い空」

③ 対句(同じ構成の語を並べる)

例: おじいさんは山へ芝刈りに、おばあさんは川へ洗濯に

④ 擬音語・擬態語(音や様子を表す)

例: わくわく、どんより、ガタン、もりもり

⑤ 漢字とひらがなの使い分け(あえてひらがなを使うと、やわらかい印象になるよ)

例: わくわく、どんより、ガタン、もりもり